

## Monthly Repo. **ならやま**

徳地 恵男

### 4月22日(木)活動 晴れ 65名 近大生3名

草が伸びてくる季節に備えて刈り払い機の安全

講習会が開かれる。JAから2名の講師を迎え、21名が講習を受け女性が半数を超え



る。彩りの森で器具の扱い方や安全面の指導が丁寧になされる。続いてグループに分かれて草刈り実習。初めての体験に意欲的に取り組む。里山Gは林内の笹刈り、チップ作業。エコGはカボチャ、エダマメの苗を植え付け、水やりをする。景観Gは彩りの森の草刈りを完了する。ピオ班は近大生によるタガイ移入と池の整備、花班は山野草園を除草し腐葉土を入れる。パトGは観察路案内板の取り付け。果樹Gは鹿よけネットの補充、梅林の草刈りをする。

### 4月27日～ならやままでの活動は休止

コロナ感染防止と医療体制を守るための対応。

### ならやま活動を振り返って(この一年)

コロナ感染予防のために休止期間があったり、参加を控えたりした会員も多かった。しかし振り返ってみて、ならやままでの一日一日は貴重な活動として充実していたように思う。ならやま活動の一年を振り返ってみた。

**6月** 4月5月が休みとなり、2か月振りに再開された4日の参加者は83名だった。

一人一人にフェイスシールドが配布される。

田植えは小学生の参加はなく会員で行った。

スパイダーモアーを購入、威力を発揮する。

**7月** 「夏だ!休みだ!里山で遊ぼう!」は午前中だ

けのプログラムで開かれる。21名の親子が里山体験を楽しんだ。

**8月** 20日は猛暑のために活動中止となった。

**9月** 17日から全日の活動となる。朝の会では各グループから活動について説明があり、終わりの会も開かれるようになって日常が戻った。

四阿に荷物台が3つ製作された。荷物の整理ができ、昼食の座席に余裕が生まれた。

東大寺建築ワークショップに参加した学生に竹材を提供し5大学の学生との交流が始まった。

**10月** メンテ班を中心に取り組んだ緑陰広場の水路工事が完成し活動場所が広がった。

15日はこの年最高の92名が活動に参加した。芋掘りイベントには72名の親子が参加。

22日の稲刈り、29日の脱穀には佐保台小5年生が参加し、収穫された黒米は給食の献立にあがり全校放送で紹介された。

**11月** 佐保自然の森の整備作業を集中して行い、林内は徐々に整備されていった。

**12月** 10日は芋煮会。エコG中心に開催され、例年にないほどの美味しい芋煮をいただいた。展望広場が整備され、展望台からはならやまの里山全体を望める新しいスポットとなった。

**1月** 初出式に花班特製の七草粥をいただく。10年継続会員記念植樹、富有柿の苗木を植えた。協働活動ではコナラ櫓木にシイタケ菌打ちを行い、一日で160本を仕上げた。

新春ならやま研修会を実施。里山活動について神戸大学黒田先生からリモート講義を受けた。

**2月** 第2駐車場が整備されて広がった。カツラ、キンモクセイなどたくさんの苗木がベースキャンプ周辺里地を中心に植樹された。

学びの森について、モニュメントやイベント広場などの整備計画の検討が始まった。

**3月** ベースキャンプ周辺に放置されていた鉄くずやごみを片づけてきれいになった。

実りの森に頻りに鹿が出没。防護柵を作ったり苗木を鉄条網で囲ったりするが対策に苦慮する。

**4月** 刈り払い機の安全講習会を開催した。